



## 平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年3月20日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 兼 CEO (氏名) 杉原 博茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 兼 CFO (氏名) 野坂 茂 TEL 03-6834-6666  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第3四半期の業績（平成26年6月1日～平成27年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	117,558	5.3	34,247	10.8	34,406	11.3	22,162	16.6
26年5月期第3四半期	111,646	0.8	30,913	0.2	30,901	△0.2	19,004	△0.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	174.23	174.09
26年5月期第3四半期	149.53	149.44

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	160,974	105,497	64.9	822.00
26年5月期	154,002	94,401	60.6	734.20

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 104,550百万円 26年5月期 93,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	86.00	86.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期（予想）	—	—	—	91.00	91.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	3.2	45,000	1.5	45,100	1.8	28,900	6.4	226.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年5月期3Q	127,251,871株	26年5月期	127,202,871株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	61,855株	26年5月期	7,025株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年5月期3Q	127,200,896株	26年5月期3Q	127,098,977株

(注) 当社は、当第3四半期会計期間より役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております(27年5月期3Q 54,000株)。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 4「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 業績の概要

当第3四半期累計期間（自平成26年6月1日 至平成27年2月28日。以下、「当四半期」）においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減はあったものの、政府の経済政策や金融政策により企業収益は引き続き改善基調にあり、お客様のIT投資意欲についても金融、流通サービス業に続き、製造、公共、公益等の業種においても回復基調にあります。

このような事業環境のもと、当社は、革新的かつ付加価値が高い製品を投入し、顧客企業への提案力を強化するとともに、パートナー企業との戦略的協業をすすめるなど、営業力強化を行ってまいりました。

以上の結果により、売上高は117,558百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は34,247百万円（前年同期比10.8%増）、経常利益は34,406百万円（前年同期比11.3%増）、四半期純利益は22,162百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

## ② 報告セグメント別の状況

[新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション]

売上高は32,710百万円（前年同期比6.8%増）となりました。また内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は30,986百万円（前年同期比8.0%増）、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションの売上高は1,724百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、特定のソフトウェアやソフトウェア実行基盤をクラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供する「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から構成されます。現在、多くの企業でITを活用した競争力強化の経営方針を進めています。当社は、グローバルで採用されているソフトウェア製品および関連サービスを、顧客企業に総合的な提案をする営業施策を積極的に進めてまいりました。

製品面では、新規ライセンスについては、革新的なインメモリ技術によりデータベースの処理性能を飛躍的に向上させ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）やインターネット・オブ・シングス（IOT）など、ヒトとモノ、モノとモノの間でやりとりされる膨大なデータのリアルタイム分析環境を構築する「Oracle Database In-Memory」の提供を平成26年7月に、業界標準言語であるSQLであらゆる構造化、非構造化データへのアクセスを可能にすることで、企業におけるビッグデータ活用をより一層推進する「Oracle Big Data SQL」の提供を平成26年9月に、また情報セキュリティに対する脅威がますます高まる中、従来型のネットワーク中心のセキュリティ対策から、データそのものへの多層防御対策を強化する「Oracle Key Vault」の提供を平成27年2月に開始しました。

また、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションについては、見込み顧客ごとに最適なメッセージを最適なタイミングで発信することで、マーケティング業務の効率化を支援する「Oracle Marketing Cloud」、  
「Oracle Hyperion」の予算管理、管理会計などの機能をSaaS形式で提供する「Oracle Planning and Budgeting Cloud Service」の提供を、平成26年8月に開始しました。付加価値の高い製品・サービスを拡充し、パートナー企業との協業を含めた営業・マーケティング活動を強力に推進した結果、当社製品の新規採用企業が増えてきております。今後もさらなるユーザー数の拡大を行ってまいります。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は54,680百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）、かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求や、特にパートナー企業との協業を推進し、新規にライセンスを購入されたお客様からの新規契約と既存のお客様からの契約更新を確保し、堅調に推移しました。

## [ハードウェア・システムズ]

売上高は16,750百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は9,162百万円（前年同期比8.6%減）となりました。高速化対応、システムの早期稼働、システム統合におけるエンジニアド・システムに対する需要は引き続き堅調で、特に「Oracle Exadata Database Machine」についてはマーケットリーダーとして市場の成長を牽引しており、平成27年1月にはフラッシュストレージを全面採用した最新版「Oracle Exadata Database Machine X5」の提供を開始しました。平成26年10月に提供開始となったリアルタイムでのデータ保護を可能とする「Zero Data Loss Recovery Appliance」、平成26年11月に提供開始となったフラッシュ・メモリベースの「Oracle FS1 Flash Storage System」などの最新のバックアップ、ストレージなどの新製品を拡充し、お客様のデータ保護、費用対効果の高いデータ利活用環境の構築を提案してまいります。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は7,588百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

## [サービス]

売上高は13,416百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス（注）」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」から構成されております。

アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。

（注）従来のマネージド・クラウドサービスから名称を変更いたしました。

## &lt;報告セグメント別売上高の状況&gt;

区分	平成26年5月期 第3四半期		平成27年5月期 第3四半期			平成26年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	28,682	25.7	30,986	26.4	8.0	42,874	27.7
クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	1,944	1.7	1,724	1.5	△11.3	2,591	1.7
新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	30,627	27.4	32,710	27.8	6.8	45,466	29.3
アップデート&プロダクト・サポート	50,950	45.6	54,680	46.5	7.3	68,594	44.3
ソフトウェア関連	81,577	73.1	87,391	74.3	7.1	114,060	73.6
ハードウェア・システムズ・プロダクト	10,019	9.0	9,162	7.8	△8.6	13,724	8.9
ハードウェア・システムズ・サポート	7,308	6.5	7,588	6.5	3.8	9,808	6.3
ハードウェア・システムズ	17,327	15.5	16,750	14.2	△3.3	23,532	15.2
サービス	12,740	11.4	13,416	11.4	5.3	17,378	11.2
合計	111,646	100.0	117,558	100.0	5.3	154,972	100.0

（注）金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は160,974百万円（前事業年度末比6,971百万円増）となりました。流動資産は120,412百万円（前事業年度末比7,576百万円増）となりました。

負債は55,476百万円（前事業年度末比4,124百万円減）、純資産は105,497百万円（前事業年度末比11,096百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は64.9%（前事業年度末比4.3ポイントアップ）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月26日に発表いたしました平成27年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当第3四半期会計期間より、取締役・執行役については、平成26年10月24日開催の報酬委員会決議により役員報酬BIP信託を、従業員については平成26年10月24日開催の取締役会決議によりESOP信託をそれぞれ導入しました。これは、職務執行がより強く動機づけられる報酬体系に改定することおよび、当社の業績や株価への意識を高めることにより、業績向上を目指した業務遂行を一層促進することを目的としております。

これに伴い、当第3四半期会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,536	101,264
売掛金	18,770	15,322
商品及び製品	0	—
短期貸付金	48,500	—
その他	4,031	3,827
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	112,835	120,412
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,065	12,512
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,288	1,271
有形固定資産合計	40,411	39,840
無形固定資産	10	7
投資その他の資産		
その他	750	718
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	745	713
固定資産合計	41,167	40,562
資産合計	154,002	160,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,963	9,364
未払金	3,534	4,625
未払法人税等	8,609	4,568
前受金	34,118	31,649
賞与引当金	1,880	1,185
その他の引当金	246	268
その他	2,241	3,806
流動負債合計	59,593	55,468
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	59,601	55,476
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,506	22,608
資本剰余金	5,857	5,958
利益剰余金	65,053	76,277
自己株式	△30	△293
株主資本合計	93,387	104,550
新株予約権	1,013	946
純資産合計	94,401	105,497
負債純資産合計	154,002	160,974

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	111,646	117,558
売上原価	57,973	60,668
売上総利益	53,673	56,890
販売費及び一般管理費	22,760	22,642
営業利益	30,913	34,247
営業外収益		
受取利息	44	42
為替差益	—	89
その他	3	28
営業外収益合計	48	159
営業外費用		
その他	60	0
営業外費用合計	60	0
経常利益	30,901	34,406
特別利益		
新株予約権戻入益	29	131
特別利益合計	29	131
特別損失		
投資有価証券売却損	8	—
事業構造改善費用	127	—
特別損失合計	135	—
税引前四半期純利益	30,794	34,538
法人税等	11,789	12,375
四半期純利益	19,004	22,162



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド・ソフトウェア・サブスクリ プション	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,627	50,950	17,327	12,740	111,646	—	111,646
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,627	50,950	17,327	12,740	111,646	—	111,646
セグメント利益	3,707	26,754	903	2,851	34,216	△3,303	30,913

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,303百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部  
門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド・ソフトウェア・サブスクリ プション	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,710	54,680	16,750	13,416	117,558	—	117,558
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	32,710	54,680	16,750	13,416	117,558	—	117,558
セグメント利益	4,636	29,213	809	2,642	37,301	△3,054	34,247

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,054百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部  
門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。